

臼杵市公立学校のあり方に関する基本計画（案）に係る意見募集結果

1. 閲覧期間（募集期間） 令和6年10月15日（火）から令和6年11月15日（金）
2. 意見提出人数 65人
3. 意見提出件数 92件
4. 提出意見の概要と意見に対する考え方

【ご意見の内容についての分類】

①案の修正（0件）、②参考として伺う（11件）12%、③質問（1件）1%、④意見・要望として伺う（80件）87%

※お寄せいただいた意見等の取扱い

- ・今回のパブリックコメントと関連しない意見等については公表していません。
- ・意見等の公表により、個人や団体が特定される恐れがある場合、その一部を削除しています。

番号	分類	質問 ページ	ご意見	ご意見に対する考え方
1	②	P4	野津小学校は、44～45年経っています。小学校を新設すべきです。	新校舎の建築については、財政状況や学校施設整備計画を踏まえ、検討していきたいと考えています。
2	②	P13	佐志生小、下ノ江小、上北小、下北小を統合して、下北小の校舎を使用とあるが、下北小の現校舎のままではせまいようにある。施設をたてなおす（新校舎の建築）など必要である。来てもらっても、かわいそうにある。	施設整備については、状況を確認した上で検討したいと考えています。
3	②	P13 P15	統廃合をすると、校区が広がり、児童の通学距離がのびると考えられる。通学に伴う負担の解決策を考える必要がある。	統合により通学する学校に変更がある場合は、通学支援を考えています。児童の通学負担軽減については、地域ごとに状況が異なることが予想されますので、地域ごとに意見を聞きながら、調整を行っていきたいと考えています。
4	②	P15	学校が統合することで、地域の人とかかかわる、行事がなくなる、伝統行事がなくなるということが不安です。なので行事をのこしてほしいです。	各地域の取組等については、地域の方々と連携をしながら、調整していきたいと考えています。
5	②	P15	私たち川登小学校は、学校が統合する事が不安です。私たちは、学校会で学校が統合する事、全校で話し合いました。その時、川登小学校で行われている伝統行事がなくなることが不安という意見がでました。とくに地域の方と一緒にこんな行事ができなくなるかもしれないので悲しいです。全国的にもめずらしい川登和紙は、統合したら人数が多くてできないかもしれません。なくしたくないです。統合した時に大人数になって友達ができるか不安です。なので他の学校との交流をふやしたり、川登小学校の人達と席を近い所においてください。今だした不安は、ほんのわずかです。私達は統合する事に不安をたくさんもっています。統合するなら、私たちの不安をけしてから統合してください。	統合前から該当小学校同士の連携に努め、子ども同士の交流を深める時間を設定します。不安の解消については、今後、取り組んでいきたいと考えています。また、各地域の取組等については、地域の方々と連携をしながら、調整していきたいと考えています。
6	②	P15	学校が統合すると今までより人数が増えて友達ができるか不安です。ほかの学校の子と仲良く出来るような時間があるといいです。	ご意見にあるように、該当小学校同士の連携に努め、子ども同士の交流を深める時間を設定します。
7	②	P9	スクールバス等の運用ということで、子どもの登下校時間に車の出入りが増えると思います。学校任せにしない安全対策をして下さい。そもそも駐車スペースが現状ないように思います。	安全な登下校のための通学手段や対策に向けた取組を進めていきます。
8	②	P10	学校と地域の連携について 生活科や総合的な学習において、地域ごとの自然や文化にふれなおす経験は、子どもたちが自分の住む地域のすばらしさを知り、ほこりを持ち、地域をより良くしていこうと考えるきっかけになっていると思っています。自分の住む地域を離れ学習することは、これらの経験をする機会を少なくしてしまうのではないのでしょうか。	本市としても、子どもたちが自分の地域にほこりを持てるような教育を行うことが、とても大切だと考えています。新たな学校になっても、地域の事を学習する機会は保障していきます。
9	②	記入無	私は、川登小学校のOBです。昭和45年に卒業しました。昭和30年に、野津町立川登小学校になりました。現在21名の生徒数ですが、風連鍾乳洞のガイド、和紙作り、二孝女の里、ひまわりフェスタ、自治会共一体となり我子供、我孫の如く接しています。今回、令和7年度で廃校となるわけですが、その時が来たでしょう。これから野津小学校に通う事になる。子供達には多くの不安があると思います。どうかその心のケアを宜しくお願いしたいです。	不安の解消については、今後、取り組んでいきたいと考えています。各地域の取組等については、地域の方々と連携をしながら、調整していきたいと考えています。

番号	分類	質問 ページ	ご意見	ご意見に対する考え方
10	②	P13	下北小学校の校舎は、狭く暗く老朽化も進んでいます。統合するにあたり、他校の子どもたちにとって今より環境が悪くなるというのでは、前向きに考えられないと思います。校舎を建て直し、よりよい環境を整備してからの統合にすべきではないでしょうか。	施設整備については、状況を確認した上で検討したいと考えています。
11	②	P4	2行目 ～整理を行います。→～学校が適正な規模となるよう統合を行います。 一番下の行 ～整理していきます。→～統合を進めていきます。	基本計画（案）については、「統合」のみだけでなく、学校運営や施設設備のあり方等についても関連して記していることから「整理」という文言を使っています。
12	③	P9	検討・対応の答え（解決策）を教えてください。	基本計画（案）については、関係者に説明をする機会を設ける予定としています。地域ごとに状況が異なることが予想されますので、地域ごとに意見を聞きながら、よりよい適正配置に向けて調整を行っていきたいと考えています。

以下につきましては、ご意見、ご要望としてお伺いします。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
13	④	P5	小規模校は、自立・責任・向上心が身につく事ができる場です。デメリットは親子で思った事は全くありません。良かったとは思っています。 ①②の課題による児童生徒への影響 小規模校だからこそ自分の意見や相手を尊重することができるようになります。自分の意見を人数や場所をとわず発表する事ができるようになりました。自分に自信を持つことができ、誰とでもコミュニケーションを図る事ができます。全校生徒や全教職員、地域の方々と接する機会が多く、社会性が身についています。自分自身の成長を感じ、授業や行事、苦手な事にも意欲的に取り組む事ができています。1クラス30名くらいいたら意見を言う事も少なく、発表する機会も少なく、創造以上の成長をする事はなかったと思います。少人数だからこそわかるまで勉強でき、個性を大切にしつつ、協調性を身につけることができたと思います。1人1人がいきいきとしています。小規模校のおかげで学校に行く事ができています。
14	④	P13	150年程の歴史ある上北小学校が少子化の影響で統廃合の対象になっていると聞き残念でなりません。ただP家庭の減少でPTA活動も危機的状況となっている事も聞くので仕方がないのかなあとも思います。意見としては、下北小学校の場所が線路、踏切りのすぐそばにある事、道路がせまい事、川が近い事などの安全面において不安があるので、できれば新たな場所（高台）に新校舎を建設して欲しいです。
15	④	P1	川登小学校では、その課題は当てはまりません。
16	④	P4	川登小学校では、このデメリットに当てはまりません。
17	④	P5	川登小学校では、その課題と影響は当てはまりません。
18	④	P10	どのように連携していくのか教えてほしい。統合した地域では、子どもたち（学校）との交流は希薄になっている。川登小学校は、小規模校ではあるが、地域とのつながりは野津の中では一番と言っているほど、共に活動している事が多いです。ちゃんと知っていますか？市が言っている”協動的な学び”を小規模校である川登小学校は出来ています。統合すれば確実に希薄になります。今のつながりを壊さないでほしいです。
19	④	P15	なぜR8に統合にと決めたんですか？（案）にしても期間が短かすぎます。前もって説明もせず、年度を決めるのはひどすぎです。今、川登小学校にいる在校生の気持ちを考えて下さい。 子どもたちは卒業したいと言っています。「統合」と聞いて不安になっています。親も不安です。ゆくゆくは統合になるだろうとは思っていますが、今ではないです。在校生を川登小学校で卒業させてください。
20	④	P3	1「農泊体験学習」 農泊の事務局を担当した経験からお伝えします。現状では、農泊体験で必ずしも全員が農業体験をできるわけではありません。グループで知らない家庭に宿泊すること自体は貴重な体験ですが、「農業体験」という観点ではその効果が限られています。 もし子どもたちに農業の大切さを実感してもらいたいのであれば、必ずしも宿泊を伴う必要はありません。むしろ、収穫体験や農作業の実地参加といった、本格的な農業活動に触れる方が有意義だと感じます。 かつて、学校でのキャンプでは、子どもたちが協力して火を起こしたり、料理を作ってみんなで食べたりといった経験が重視されていました。こうした体験の方が、現在の農泊体験よりも価値が高いと感じます。しかし、先生方の負担や安全面への配慮、また親御さんからの懸念などから、こうした活動が難しくなっているのが現状です。 それでも、今の子どもたちは、いずれ厳しい社会に出る時がきます。そのような環境にどう適応できるかは、幼少期の経験に大きく影響されます。例えば、毎年夏休みに黒島で行われる企業主催のキャンプでは、20名ほどの子どもたちが1～2泊し、各自自由に泳いだり、グループで遊んだりしながら魚や貝を採って食べるといった体験をしています。このような活動が白杵市の小学校で実施されていると知られば、白杵で子育てをしたいと思う方も増えるかもしれません。全校で行うのが難しい場合でも、特定の学校で取り入れることで、白杵市の独自性をPRする良い機会になると思います。
21	④	P3	1「白杵っこ検定」 白杵市の教育をより魅力的にするためには、子どもたちが地元の歴史や偉人について学び、郷土愛と誇りを持てるようになることが重要です。郷土の偉人たちがどれだけ努力して成長し、地域に貢献してきたかを知ること、子どもたちも自分の未来に挑戦する気持ちが育まれるでしょう。「白杵っこ検定」は興味を持った子どもたちが自主的に参加できる素晴らしい取り組みですが、全員が参加できるわけではありません。したがって、授業の中で全員が地元の歴史や偉人について学べる機会を提供することが大切です。 白杵市の教育の目標は、「唯一無二の学び」を実現することです。白杵の自然を活かした他市ではできない独自の授業や体験ができる学校があれば、地域に根ざした学びを求める保護者にとって大きな魅力となるでしょう。すべての学校が同じ特色を持つ必要はありませんが、たとえ一校でも特別な体験が提供できる学校があれば、白杵市の教育の魅力が高まるでしょう。 例えば、ある地域では、廃校寸前の高校が地方創生の取り組みで魅力的な学校に生まれ変わり、全国や海外から生徒が集まるようになりました。この「隠岐島前教育魅力化プロジェクト」では、当初「県立高校は私立ではないので変えられない」と言われていましたが、挑戦を続けた結果、多くの生徒が集まる人気校となり、NHKでも紹介されました。何かを実現するには「できない理由」を挙げるのではなく、「どうすればできるか」を考えることが重要です。白杵市の教育も、こうした成功事例を参考にしながら、新しい可能性に挑戦していくべきではないでしょうか。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
22	④	P1	大阪から引っ越してきました。入学時に統合の話は、聞いていませんでした。今の小学校で卒業させてあげたいです。「川登小学校がなくなると思うと、ぼくは涙が出てくる」と子供が言いました。まだ2年生です。2年かよっただけでこんなに自分の小学校を大切に思える子供に育ってくれた事をうれしく思います。そして安心して子供を預けられる小学校だと思っています。 大阪では、小中高関係なく問題が多く、子供達、先生方、教育委員会、大変な思いをしています。1クラス30人をこえると、いじめがあっても注意すら来ていない状態です。学級崩壊も珍しくありません。先生方が辞めて、責任をとっても子供達の大切な時間はもどってきません。いじめを心配しながら子供を学校へ送り出す保護者も少なくありません。小規模学校の大切さを引っ越して来て知ることができました。 川登小学校は、子供達だけでなく保護者の方々も地域とのつながりがとても強く感じられます。なかなかめずらしい小学校だと思います。あたまうちの教育ではなく、可能性のある教育が今からの時代必要なのではないのでしょうか！新しい事をおいかけの事も大切ですが、守る事も大切なのではないのでしょうか！教員不足、財政難はどこも一緒です。周りと同じ事をしていても成果はえられないと思います。結果は見えています。
23	④	記入無	まず、案全体が「統合ありき」の案過ぎて、現行のまま行方策が皆無です。仕方ないので統合の流れとします…というものののが気に掛かる。 統合ありきの資料・数字を見せられて保護者側を「仕方がないか」と思わせて、流れ的に統合させるようにも感じられ、統合される側の配慮も感じられない。 一例を挙げれば小規模校のデメリットに関しても現在、野津町の小学六年生が年に2～3回コミュニケーションが取れる授業等がある様だが、各学年で月1回程度の頻度で合同授業を行う等して力を養う様にすれば良いとも感じるし、将来的に統合という流れになったとしても十分に子どもたちの状況を見て参考にしていく機会を先んじて設ける上でも必要ではないかと感じる。 今回の案（資料）に関しての意見を書面で集めるだけで「意見も募った結果、統合します」の流れには絶対にせず、各学校単位、又は野津町三校合同でも構わないので、直に会議・集会を設け、双方しっかりと議論をするということをもまずは約束して欲しい。
24	④	P2	子どもの教育、施設の整備には十分な投資をして欲しい。 財政状況の厳しさで片付けては子どもたちの将来がかわいそうである。本当にこれからの社会をしなやかに生き抜く人材を育てる気があるのなら、最高の（できうる限りの）設備、人材をそろえて、教育の場を作っていただきたい。そういった教育の充実、あるべき未来の姿や計画が示されていないと感じた。学校を統合してどんなメリットがあるのか、もっと具体的に明るい夢のある説明がなければ、保護者は納得できないと思う。川登小を選んで通わせている人も多いので丁寧な説明を望みます。
25	④	P2	人口減少に伴う地方税の減少がみこまれる将来を見据えると、すべての学校の施設設備を維持・改修していくことは現実的とは思わず、計画的な施設整備を行って、子どもにとって安全な学習環境を維持していくためには、統廃合も選択肢の一つだと考えている。
26	④	P4	子ども・保護者の視点のメリットには、「一人一人の活躍の機会や役割が確保でき、表現力や責任感、高学年においてはリーダーシップを育成しやすい。」というメリットもあると思う。私の子どもが通っていた中学では、小規模校出身の生徒も、学校行事の際には学校・学年の中心として活躍していた姿が印象的だった。よって、5ページの下から7行目「・集団の中で自己主張を～身につけにくい。」は、あくまで個人的な性質によるところが大きいと思われるので、一般的な【児童生徒への影響】からは削除した方がよいと思う。
27	④	P14	「少人数の学校に通わせたい。」という保護者の声や、適正規模と言われる人数の中では学校に行きにくい子どもの状況や声もある。現在、南ブロックには小規模特認校があるが、北ブロックからは遠方であるため、送迎が保護者にとって負担が大きく、通学をあきらめたという人もいた。人数は「適正規模」にはならないが、個に最適な学習環境をととのえるためには、佐志生、下ノ江、上北をすべて統合するのではなく、北ブロックにも小規模特認校が必要かと思う。
28	④	P15 P16	まだ、学校にも地域にも保護者にも面と向かって説明していない中、北ブロックが9年度、野津ブロックが8年度というのは時期が早すぎると思う。「地域住民への丁寧な説明と住民意識の反映」とあるが、地域住民や同世代の保護者からも「8年度に学校がなくなるとか全然知らなかった」という声を多く耳にした。そのような状況下で野津ブロックはあと1年、北ブロックはあと2年という説明を受けても理解をすることは難しいのではないだろうか。
29	④	記入無	地域の学校がなくなるかもしれないというときに、なぜ、地域に対する説明や話し合いがもたれないのか！市報の記事を見損なった人やこの情報を知らない人も多い。このような計画を出すにあたって、まず地域に知らせ、どのように考えるか話し合うべきだ。
30	④	記入無	地域に学校がなくなるということは、その地域の過疎がすすむことにつながる。市全体の計画として本当にそれでよいのか。
31	④	P9	コミュニティスクールの再編成について 白杵市は、各地域の特殊性を出すようにと、コミュニティスクールを推進し、各校独自の特色を出し、その成果が表れている。 地域の方々への協力等もすすみ、様々な行事に期待もよせている。その成果も表われ、小さい学校でもそれなりの教育活動が保たれ、児童の成績も遜色ない。それよりも少ない人数で安心して児童が通えている姿が見られる。地域に学校がなくなる事、小さい学校がなくなることの方がダメージが大きい。 うちは、「地域に学校があるから」子どもたちは、よそから帰ってきた。このままでは、学校運営より地域の人口減の方が問題となる。
32	④	P13 P15	統廃合が進むと、地元の保護者や子どもが不安がって、市外へ転出するおそれがある。（少子化の心配）

番号	分類	質問 ページ	ご意見
33	④	P15	学校が統合することで不安なことがあります。学校が野津小学校になったら通学がとなくなってバスで行かないと行けないし、5、6年生は児童クラブに行けないから、帰る時に不安なのでどうしたらいいか考えてほしいです。
34	④	P15	ぼくたちは学校が統合する事で不安な事があります。例えば、統合して人数が増えて授業中にわからない所などを質問しにくいし、生徒1人1人に先生が回れないので1人1人それぞれ勉強がおいつけないかもしれないから。
35	④	記入無	3人娘の父で長女が川登小2年生で次女が来年川登小に入学します。できれば次女が卒業するまでまってほしいです。
36	④	P10	子供が減り統廃合は仕方ないが、在校生の保護者の意見を聞いてすすめるべきだ！
37	④	記入無	自身の子供が上北に通学しています。今回の統合のお話は5日前に知りました。統合に関する説明会が開かれていないので不満であります。話し合いの場が全くなく、一方的な通告に感じています。きちんと話し合った上で決定をしてほしいです。統合する、しないにしてもまず、話し合いから進めてもらいたいです。現在の所、統合には反対です。まず話し合いの場を設けてほしいです。
38	④	記入無	登下校を見れなくなる。声が聞けなくなる。活気がなくなる。学校と家とのつながりがなくなる。母校がなくなると寂しくなる。
39	④	全体	少子化や運営状況を考慮するとこのような計画案が出るのは仕方がないと思います。しかし、この計画案を作成するにあたって実際に通っている児童やその保護者、学校を支えて下さっている地域の方々への調査をされたうえでの計画案とは到底思えない一方的な内容だと思います。特に令和8年度には統合に向けて取り組む事には反対させて頂きます。 小規模校のメリット・デメリットは記載されていますが、適正人数になった際のメリット「協働的な学び」は書かれていますが、デメリットは記載されていません。デメリットはないとされているのでしょうか。子どもの特性を活かし、楽しい学校生活を送る為に個別教育のできる川登小学校を選びました。統合されて人数が多くなってしまうと、子どもへの影響はデメリットの方が多くなります。人数が多くなったから対話が増えるとは限りません。逆に話すことができなくなる子どもも増えます。誰かがやってくれるから自分がやらなくても良いという思いも出てきます。 基本的理念白杵市が目指す学校教育の郷育・協育・響育・今日育は、川登小学校の児童は地域の方々、先生方と協力して実践する事ができています。川登小学校の児童は地域の方々の前で発表することもあり、コミュニケーション力を高める事ができ、リーダーシップをとることができます。これからの社会を生き抜く為の土台作りを6年間で仕上げて、自分に自信を持って卒業します。途中で環境を変える事なく川登小学校を卒業させてあげたいです。本当に白杵市の未来を担う子ども達の育成に取り組んでいるのであれば、白杵市に限定せず、市外でも様々な経験を積める機会を増やすべきだと思います。これからも白杵に住みたい、白杵で働きたいと思えるような白杵市になって欲しいです。白杵の未来を担う子どもたちの気持ちを大切にしてください。
40	④	P15	2009年から2013年にかけて野津小学校が戸上小学校、都松小学校、田野小学校と統合した時は、2年おきに統合したはずですが、なぜ今回は3校をまとめて統合するのでしょうか。あと1年5か月では、あまりにも時間がありません。これでは、子どもたちの気持ちの準備や環境を整えるための準備にも時間がとれません。 また、野津小学校では、男子トイレの大便器の数が2学年に1つしかなく、1年生の男の子が3階まで空いている大便器をさがしに来ていました。どうすればいいのでしょうか。人数がふえとなるとますますむずかしくなると思います。少しでも統合のスケジュールを延ばしていただけますようお願いいたします。
41	④	P10	人口減少や少子化、さらには中央（都市）集中型、核家族化のライフスタイルの変化にともない、現状の危機をむかえています。この危機は学校だけの問題でもないし、学校教育だけでは解決できないことも承知しております。ただ…下ノ江小・豊洋中を卒業し、下ノ江に住む者の肌感覚として、この地域に立地する学校教育機関がなくなることも逆の危機感を覚えます。地域素材（登山できる山、遠足に行ける海、みかん狩り、魚のえさやり、造船業の見学、地域コミュニティとの関わり…）など、子どもの体験学習にはもってこいの宝が豊富にあるからです。ちがう視点からみた「多様性のある学校」として市内に残してほしいです。そして他の集団になじめない子どもさん。この地域素材を選ぶ子どもさん。のために、特認校として残していただけないでしょうか…。地域住民として、そのバックアップをがんばります！
42	④	P3	白杵で「3つのきょう育」（郷育・協育・響育）+今日育」を掲げて取り組んでこられたと思います。私は、下ノ江在住で子ども達も下ノ江小学校に通い、地域の方にも大切に育てられ、子どもたちも地域のことが大好きで下ノ江を誇りに思う子どもに育ちました。 下ノ江だから学べたことが山ほどあります。一時期「小規模校で育った子は、中高で大人数の中に入ると弱い（?）」というようなことを言われたことがあります。我が子を見て決してそんなことはないと言えます。もちろん、大人数たちの中で学ぶ事もあると思いますが、小規模校のよさにもっと目を向けてほしいです。
43	④	P3	白杵には、「小規模特認校」がありますが、もう1つ海のある地域に作ってほしいので、佐志生や下ノ江を特認校にすれば需要はあると思います。
44	④	P3	「地域の力」も学校が無くなれば低下すると心配しています。様々な面からもっと広く声をきいて下さい。
45	④	P3 11行	3つのきょう育のうちの郷育でめざしていることは、地域素材を生かすこと、「協育」では学校・家庭・地域のつながりを大切に書いてありますが、地域つまり自分が住んでいるところと学校や子どもがつながるために、地域から学校をなくさないでほしいと思います。どうしてもというのなら、移住を積極的に進めている佐志生小を特認校として残し、海での活動ができる等のとりくみを残していただけないでしょうか。学校がなくなると地域がすたれ、さびれていくと聞きます。未来の白杵市を豊かで幸せな場所にして下さい。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
46	④	全体	今回の基本計画（案）の前段階の基本方針へのパブリックコメントを受けた「ご意見に対する考え方」を拝見しました。その中に「基本計画案の作成にあたり、その内容については対象となる学校の保護者、地域住民及び教職員に説明を行います。」とありました。私は、その対象者だと思いますが、10月の学校便りで初めて詳しい内容（小学校の統廃合について）を知りました。説明会または丁寧なお知らせなどありましたか。
47	④	P4	一昨年度より白杵市で勤務させていただいていますが、初めて聞きましたし、表で表されたメリットとデメリットは全職員共通の視点でもないので、一般市民の方に勘違いされたくありません。保護者と児童の視点にしても同じことが言えると思います。もう少し慎重に丁寧にすすめてほしい話です。納得できる説明をすべきだと思います。
48	④	P4	この先、子どもの人数が減っていくなかで、少人数だからとか複式だからといって小学校の適正配置や統合に動けば、白杵の各地域の色々な良さを学び伝えていくことがなくなっていくのではないかと危惧します。自分の地域が好きな土台を作る時期に他の地区の学校に通うのはどうかと思います。又、スクールバスで朝、夕通学の時間に長時間とられるのは、大変だと思います。（体力はつかないし、遊べないし）
49	④	P16	各地区での説明会を行うとかいていますが、地域、保護者、色々な人が色々な立場で意見が言いやすい場を作ってほしいと思います。意見交換会の場になるようにしてほしいです。子どもがいるとかいないとか関係なく、その地域の声に耳を傾けて下さい。
50	④	P10	とにかく適正配置についてきいていない！と感じています。それが「決定」ということをききました。一方で「意見をきく会をひらきます。」ともききました。決定なのに意見をきく、どういうことなのかと思います。パブリックコメントも決定なのに意見をきくっていうのは、どういうふうにきいてくれるのだろうかと思っています。地域ごとに学校があるということは、各地域で独自のものがあり、それが「3つのきょう育」の郷育であると思います。子どもたちが小さい時からその土地独自の活動に慣れ親しんでいくことが、愛着を持つことにつながると思います。そうなってくると地域ごとに特色を持った学校があることは、白杵市がめざしているものなのではないかと思う。加えて下北小学校はせまく、教室数も少なくベランダもなく、門はせまくバスが門にぶつかったこともある。そんなところに統合してバスが何台か入ると大丈夫なのだろうかと思う。
51	④	P13	（2）地域ごと（中学校ブロック）の適正化配置計画について 北ブロックの小学校3校が「過小規模」の理由で、他1校と統合の計画（案）出されています。校舎を下北小学校使用とありますが、現段階で手洗い場の水道やトイレ数が不足しています。児童数が統合により増えると、現在の設備のままでは衛生面での懸念が大きいです。説明会等が行われるなら、解決策についても提示して頂きたいと思います。
52	④	P9	児童生徒の通学条件について、通学への負担軽減を考慮しますとありますが、日頃の登下校の事を考えると保護者の負担はかなり大きくなると思います。また、野津地域の統合の時、野津の学校に勤務していましたが、下校時の対応が教職員の負担に繋がると考えられます。 統廃合は、それぞれの地域の魅力、地域の特色がないがしろにされたり、地域分断に拍車をかけることになると思います。地域の特性のある小規模校の子どもや保護者の気持ちを考慮し、意見を聞いて丁寧に対応していただきたいです。
53	④	P10	子どもたちと地域のつながりは、日々のつながりが大切なはずで。毎日のあいさつ、登下校の見守り等がつながりを作ると思うので、地域に学校があることが大切だと思います。特認校制度をもっと広く知らせて、活用して、地域の学校を残すことが大切です。
54	④	P16	「説明会」ではなく「意見交換会」にして、地域の方の生の声（遠慮ない声）をきちんと聞いてほしい。地域に生きる人たちの思いを大切にしてほしいです。
55	④	P16	(1)地域住民への丁寧な説明と住民意識の反映について 曖昧なまま統合するのではなく、充分な説明と住民の方々の納得の上で行ってほしいです。 また、統合するとしても期間が短すぎるとも該当学校から言っています。子どもも納得できる、準備できる期間が必要だと考えます。
56	④	P16	地域住民への丁寧な説明と住民意識の反映 計画として早く進んでいる気がします。 日々学校に協力してくださっている地域の方々や学校に通わせている保護者の方々の考えもしっかり聞いて頂き、みなさんが納得して頂ける適正配置の最良見解を導き出してほしいです。
57	④	P9 P13	統合の仕方を見直してほしい。 統合予定の3校は、現在3校+海辺小の4校で校外学習で共学・交流を深めている。将来的に海辺も複式になる可能性が高く、今、交流している3校と合べいた方が子ども同士も安定すると考えられる。 校舎を考えた上でも、下北では児童数が増えるため、その分はプレハブ校舎建てとなる。新校舎が必要である。この3年でたてかえるのは無理だし土地もせまい。 海辺であれば校舎も広く児童数も満たされる。バス通学にしても、下北は今送迎バス（児童館）の2台が入ると停める場所もなく玄関前で児童との接触も危険もある。海辺は漁港を利用すれば、安全で場所の確保もできる。
58	④	P1	「超スマート社会をしなやかに生き抜く」とは具体的にどういうことなのか、やはりわかりません。具体的に示していただきたいです。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
59	④	P10	「小規模特認校」については、子どもや保護者が「小規模」を求めているのですから、少人数化が進んだとしても、継続していくべきだと思います。
60	④	P15	野津ブロックの統合はなぜ令和8年度の統合をめざすのでしょうか。あと1年で、どのような環境整備をする予定なのでしょう。
61	④	P16	統合することにより、校区が広がります。歩いて校区探検ができる範囲が限られたり、地域素材を活かした総合的な学習などの取り組みにおいても地元意識が薄れたりすることが懸念されます。これは「郷育」の衰退につながるのではないかと思います。 また、学校がなくなるとそこに人は住まなくなるので、地域のコミュニティは弱くなっていくと思われます。学校があれば集まっていた人たちも集まらなくなるのではないのでしょうか。 地域コミュニティのあり方や学校跡地利用について「検討します」ではなく、具体的な案を示した上で、地域の方々へ説明をしてほしいです。
62	④	P3	○郷育…ふるさとを愛する心、大切にできる心。その地域で学校が果たしてきた役割。学校が支え、支えられてきた営み・歴史を、その意義を確認し合う十分な時間をください。 ○個別最適な学び…を実現するために、小規模校を選んだ保護者がいます。それに応えたいと、一人ひとりを大切にしてきた学校の実践があります。小規模校の魅力は、白杵市の人口維持に貢献してきたといえないのでしょうか？
63	④	P14	○佐志生小学校、下ノ江小学校、上北小学校については、学級数及び児童生徒数の規模の基準が「過小規模」となっていることから、学校規模の適正化に向けた検討を行います。 →保護者・地域・教職員、その学校に思いを持った人々とともに、検討する時間を十分にもってほしい。 ○校舎は、下北小を使用 →校舎が古く、狭い。駐車場も狭い。なぜ、下北小なのか？前向きに新しいスタートをきるには不安です。
64	④	記入無	私は、上北小の子どもたちが大好きです。赴任してから2年間、困りを抱えているお子さんのお家の方と一緒に悩み喜びを分かち合ってきました。地域のみなさんにもいつも温かく支えられてきました。困りをもっている子どもも、小規模校だからこそ、認められ支え合い「学校が楽しい」と登校し、周りの子にも「思いやり」の気持ちが育まれています。どんな社会を子どもたちに残したいか？考えます。超スマート社会の中でも、思いやりを持って助け合い、みんなで生き抜く社会であってほしいと願います。いろんな人々がともに生き、いろんな形態の学校がある。白杵市は、それをめざすことはできないのでしょうか。
65	④	P13	下北小学校の校舎は、古くせまい。下北小の改修予定はあるのでしょうか？ ブロック編成を考えているのであれば、下北を佐志生、下ノ江、上北に分けると小規模校ではあるが適正規模にもなると思います。校舎もそれぞれの校舎の方が広いですし、少人数で個別最適な指導にとりくみやすいと思います。下北小は放課後児童クラブ等で使用。
66	④	P13 ～ P15	学校が統合することで、長距離通学になる子が増え、体力的・精神的苦勞が教育面での弊害になるのではないかと不安・心配になりました。
67	④	P13 ～ P15	学校の統合について、子どもが通学の手段を変更されることにより、安全性の確保や心理的・具体的なストレスが生じる可能性があるということについて課題を感じます。
68	④	P9	徒歩通学からスクールバスでの通学になった場合、登校時刻や習い事への送り迎えなど、それぞれのご家庭の生活に大きく関わることが多いと思います。計画を立てた上で、保護者にきちんと説明するべきだと思います。
69	④	P13 ～15	学校の統廃合については、慎重にお願いします。学校は、子ども、保護者、地域とのつながり、成り立っていると思います。子どもの学舎の補償をしたとしても、保護者、地域とのつながりの面はなかなか保たれないのではないかと思います。学校は、地域の文化を守っているという面もあると思います。 その地域らしさが価値となるであろう今後の社会において、その地域の学校を簡単に廃校にするのは、もったいないことだと思いますので、慎重な検討が必要だと思います。
70	④	P4	複式学級の解消に向けて、その地域の方や保護者にしっかりと説明していただきたいです。
71	④	記入無	私はこれまで川小の運動会。感謝の会（発表会）等毎年欠かさず出席をしております。児童数の少ない中であって、元気よく躍動し楽しく表現する様子に感動し楽しんでいます。 又和紙作り、二孝女の交流、語り、鍾乳洞のガイド等、見事に継承し実践しております。誇りに思います。これは先生方のご指導はもとより児童の頑張りや努力、そして何よりも地域の人達の児童に寄せる愛情熱意に他なりません。突然PTAの役員さんより令和8年度統合の話聞き基本計画（案）を拝見しました。児童数の減少の推移、それによる適正規模、適正配置になるほどと納得せざるを得ません。しかしこの山間の地に楽しく学び素直な児童と地域と一体となった学校、この様に特殊な環境に位置する小さな学校…何とか残れる（すべ）はないのでしょうか。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
72	④	P 9 P 15	少人数になればなるほど、その維持に財政的負担が増えていくという事は理解できます。ただ今まであった物がなくなると地域の勢いや拠り所がなくなり活力が失われていくと思います。一つの案としては、この前鹿児島に行った際、自然の中でのびのびした教育をという看板を何件か見かけ、よその地域からの留学生を募集しているのを見かけましたので、全国から応募をつのってみるのも良いかと思います。 又、他者との交わりの機会が少ないという事であれば、年々増えている地域の一人暮らしの高齢者と例えば昔ながらの農作業を通じて交流する等の方法もあると思います。同学年との交流が必要ならば、曜日を限定して他の学校と合同で授業をやり、とりあえずどうなるか様子を見るという過渡期的となるような場所は残して欲しいと思います。
73	④	P 15	野津ブロックの令和8年統合は、早過ぎると思います。まず少人数の中で個性を育ててきた子どもたちが大人数になじむための準備期間として短いこと、そして地域の中で一体としてとりくんできた行事等の整理期間、納得して学校を閉じるための（記念誌など）の準備期間を考えると現場、地域、何より子どもの負担が過重になると思います。二年、せめて一年期間を延ばしてほしいです。
74	④	P 15	特別な支援が必要な子にとって、特に環境の変化は大きいものです。統合した際、例えば元の学校にいた教職員が誰かはついていくことや支援学級の人数が多くなる場合は加配をつける等最大限の配慮をお願いします。
75	④	P 15	廃止になる学校は、人数は少ないけれど豊かな自然環境や地域の力に恵まれているところも多いと感じます。不登校が深刻になっている現状を考えると、臼杵市にも廃校を活用して玖珠のような学びの多様化学校の創設を望みます。特別支援教育と不登校の問題は、今や切り離せないものであり、そこに1つの答えをくれるものが学びの多様化学校のような教育システムであると考えます。 臼杵市は子育てしやすいまちとして、他市から移ってくる方もいると聞きます。予算等色々あるとは思いますが、地域の宝は何より子どもたち、未来を担うのも子どもたち、教育へのお金は惜しまず、ますます臼杵市の魅力を増やしていってほしいと思います。
76	④	記入無	年度途中の、そして、再来年度からの統合との計画は、突然であり、整理、準備していくにはあまりにも時間が少なすぎると思います。本校は少人数校ではありますが、だからこそ、子ども一人ひとりに目が配られる本校を選び入学された御家庭もあります。子ども本人も、大人数の中、自分の困りに対応してもらえるか大きな不安をかかえている児童もおります。特に支援の必要な子は、自分がどうすればよいか表情が暗いです。他の子にとっても、統合の話しに川登小での行事や地域の方との関りが無くなる寂しさや不安を感じており、統合後、自分の生活する地域との関りがなくなってしまう、地域への愛情が希薄になってしまう、地域の方々にとっても子どもの見守りや関りが減り、地域の元気が激減してしまうように思えます。 このような混乱している子どもたちの気持ちの整理、準備が十分とらなければならないと思います。3校合同学習活動や支援の必要な子にとっては、野津小へではなく、他校でも目の行き届く考えなければならない状況も考えられ、保護者への負担がかかります。 できることなら、本校で卒業まで過ごせるようにしてもらえると有難く思っている保護者もおられますので、ご検討よろしくお願いします。
77	④	記入無	いずれは合併するのは仕方ないと思いますが、小中一貫教育を推進するのであれば北ブロックで統合が必要になってから、環境を整え（新校舎など）、その後の統合でもいいのではないかと考えます。海辺だけ外れるのはどうなのでしょう…。新校舎の建設の際は、災害対策も視野に入れて考えていただきたいです。 適正規模の小学校のメリットデメリットもあると思われませんが、そちらのデメリットの解消はいかがお考えでしょうか。いじめや不登校、先生の休職や離職など心配事が多いです。 国連はインクルージョン教育を推進しているようです。上北はお互いを認め合い、ある意味多様な人を認める教育ができていけるのではと感じています。それは小規模だからこそだと感じています。 学校がなければその地域で子供を育てようとは思わずに益々過疎化が進むのではないのでしょうか？ 細かいことですが、PTAや行事ごとなど、駐車場の確保等はどのようにするのでしょうか。
78	④	記入無	合併の件です。それぞれの地域の方々の協力ができなくなるのではないかと。関わりの少なくなっている世の中、子ども達にとってこの選択がよいものなのかとても疑問に思えます。 学校設備についても、子ども達が過ごしやすく、よい条件の中でできることを願います。 不登校が13人に1人とききました。さらなる危機となるのではと心配しています。
79	④	P 15 ～ P 16	7・学校の適正化に向けて、（2）地域ごと適正化配置計画、【計画（案）】川登小学校、南野津小学校、野津小学校を統合 → 小学校の統廃合は、その後の地域コミュニティに多大な影響を与えます。これまで学校の統廃合をきっかけに地域が衰退していくケースも少なくありません。一方で全国的に想定を上回るスピードで進む少子高齢化・人口減少の流れは、当分の間続くものと考えられ、あらゆる面でこれらに適応していくことも重要です。このように大変難しい状況ではありますが、統廃合にあたっては、児童生徒の保護者はもとより、地域住民や関係者が少しでも納得して進められるよう、丁寧かつ十分な議論を行うことが必要と考えています。
80	④	記入無	小学校の統合案には反対です。統合に対して、最優先は子供達の意見で、子供の意見を尊重させたいです。
81	④	P 13	下北に統合された時の問題点についての具体的な提示と解決案がなく不安である。 教室の過密さ（支援学級の人数や教室も） スクールバスのスケジュールなど 人数が少なくても、学びはできるのに過密な環境で本当に臼杵市がめざす学びができるとは思えない。 統合するのなら海辺小の方がゆとりがあるのではないかと。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
82	④	P4	「人間関係の評価等が固定化しやすい」 複式の場合、1年おきにくみあわせる学年がかわるので、新しい人間関係ができ、さらに互いを成長させることができる。単学級で6年間、おなじメンバーのクラスよりも固定化しない。 「1人あたりの校務分量が多い…」 1クラスの人数が多いほうが、生徒指導上（小規模校は職員全員で1人ひとりの子どもを大切にできます）の問題の対処におわれ、精神的にもきつい。 統廃合を将来的に実施すること自体、しかたないと思うが、今の下北小に受け入れることができるのか、豊かな教育となるのか、生徒指導面も学力保障面も心配である。
83	④	記入無	川登小学校の広報紙でこの計画案があることを知りました。予想はしていたものの、8年度統合に向けては、少し、早急過ぎませんか。 川登小学校の取り組みでは、二孝女の伝承、風連鍾乳洞案内、紙すき卒業証書、ひまわりフェスタ活動、感謝の会など、地域と一体となった活動を通して、子ども達が生き生きとした姿を見せてくれています。 一人ひとりが主役の姿を見るにつけ、小規模校のデメリットを先生方の工夫やフットワークの軽さで補ってくれているのだと感じます。 また、学校を中心に地域振興協議会の活動も活発になり、新たに、今、地域に連帯感が生まれているようにも感じます。 この地域の特性を生かして、白杵校区に一校あるような特認校を目指すことはできないでしょうか。地域の住民としては、宝物の学校ではありますが、資料の数字を見ると納得の感もあります。充分に保護者、子育て中の方々、地域の声を聞く機会を作ってほしいと願います。
84	④	P3	時間をかけて地域、保護者、学生と論議すべき問題であり、先に統合ありきの基本計画案には賛成しかねる。ただ、現状として児童数の減少は切実な問題であり、やみくもに反対する訳ではない。 例えば、インターナショナルスクール的な英語（他言語も含めて）で全てを行うなど、思いきった学校を作ってしまうのも一つの手ではあると考える。白杵ならではの特色をいかしての学校運営をして欲しい。
85	④	P3	「郷育」の件では、農泊も運営団体が高齢化しており、情性で行っている部分もあるので、教育にかかわる全ての事業に対して再検討が必要であると思う。
86	④	P3	関係者の皆さん（市の職員）の熱量にも差があるので、きちんと職員に対しての教育も行ってほしい。
87	④	記入無	検討委員会の皆様には、この様な計画案を作成して頂きおつかれ様です。資料等非常に参考になりました。ありがとうございます。 しかし、15ページ（3）の「スケジュールのおおよその目安」には反対です。子どもたちには、少しでも長く居させてあげたい、少しでも多くの卒業生を送り出したい気持ちです。 この統合案を地域の多くの皆さんに周知し、小学校に対する思いのある方々を集め、最初から、統合時期の話を始められたらと思っています。
88	④	P15	令和8年度に統合する場合、準備期間として1年弱しかありません。この期間に各校の準備が間に合うのか疑問です。校舎が古いため施設面も気になりますが、児童・保護者の気持ちがそこについていくか一番気になります。統合される側は閉校及び新学校への準備を同時にしなければなりません。また、統合する側も3校が一緒になることを考えて、学校行事を精選するなどスクラップアンドビルドする作業があります。児童・保護者の気持ちや教職員の負担を考えると、一年間の準備期間という案は早すぎるのではないのでしょうか。
89	④	P15	どの学校にも特別な支援を必要とする子どもたちがいます。そのような子どもたちにとって環境の変化は、大きな壁といえます。計画的に三校合同の活動等を仕組んでいく必要があります。 具体的には、一人ひとりの子どもたちの個別の指導計画や個別の教育支援計画等をもとに教職員の共通理解を図り、保護者との面談を実施し、子どもたちの交流活動を行っていきます。以上のような三校合同の活動等を仕組むには、令和8年度からの統合には、時間的にゆとりがありません。子どもたちの不安解消のためにも令和9年度以降の統合を望みます。
90	④	記入無	小学校がなくなると地域に人がいなくなる。 大人数になると1人1人の子を見れなくなる。イジメも増える。少人数で先生の目がいきとどき、伸び伸びと勉強、運動していった欲しい。 今いる子供の声を聞いてあげて下さい。川登小は、本当に良い学校です。 私の子は、大在小から川登小に転校しました。おかげで元気な明るい子になりました。引越してきて本当に良かったです。
91	④	P4	川登小の子どもたちにとっては、デメリットの部分はあてはまっていないところが多い。 私たちは、人数が少ないので、自ら選んで転居し、川登小学校へ通学していて、それでも子どもたちが不安定であったりするので、人数が多くなればその分また他人の影響が私たち（親）も増し、子どもも増し、お互いにストレスが増えると思います。今の川登小の先生たちもとても柔軟に対応してくれていますが、それが野津小になって、してくれる保証がない限りは、とても不安がある。というのが親として思うところです。現状支援学校にも入学できず、最少人数での普通級でも順応できていない我が子をどうやって多人数の中での学校生活に入れていけば良いのか不安ですし、移行期間が短すぎると思います。 特別支援についてももっと説明して頂けるとありがたいです。LDの受け入れがどの程度なのか、お友だちにどう説明してもらえるのかなど、詳しく提示して頂きたいです。書面だけでの説明で納得することは難しいと思います。
92	④	記入無	行政のあり方もよく理解できますが、地区民としては学校に子供達の姿を見なくなる事はとても淋しく思えます。地区民として積極的に行事や奉仕活動にも参加している様ですし、それらも地区民の生きがいだと思います。今まで通り存続してほしいです。お願い致します。